

少子高齢化や獣害対策への取り組みに期待

甲南・宮地区自治振興会

4月に自治振興会によるまちづくりがスタートし、8月1日現在、19の地区で自治振興会が設立されています。設立後、多くの自治振興会では既に様々な事業展開が行われています。今回は、4月30日に設立された甲南地域の第三小学校区となります「宮地区自治振興会」をご紹介します。同地区では、先進地での視察内容を参考にしながらも、特色あるまちづくり計画を模索し、第2回総会(8月27日)での策定をめざしておられます。

にん寄席」がありますが、このうち5月に子ども会研修旅行を実施しました。今年は大阪市立科学博物館と関西サイクルスポーツセンターへ行き、頭と体に優しい研修会となりました。



また、近隣の先進地として名張市国津地域、伊賀市玉滝地域の2か所の視察研修もおこないました。両地域も当地区と同じように、少子高齢化、獣害対策などが課題であり、両地域の課題克服に向けたアイデアは、当地区の「まちづくり計画」を作成する上で大変参考になりました。

宮地区自治振興会のPRをどうぞ

昭和7年9月に全国の模範村として「滋賀の宮村」を紹介した冊子が発行されました。

農業以外の特別な経済的資源のないこの村では、先人たちの団結力とあらゆる面での協力し合える体制づくりが昔から整っていたため、模範村として紹介されたのだと思います。

当自治振興会の未来を考えると、貧しい農村の民をこれほどまでにまとめ上げた、先人のリーダーシップとたくましい行動力は私たちの模範であり、その歴史は宝物です。

全国に名を轟かせた先人たちの先見の明と活力を今の時代に生かせるよう取り組んでまいります。

活力ある「宮」にするために皆さんのご協力をお願いします。

宮地区自治振興会

西本恵一会長に聞きました



自治振興会設立に至った経過やご苦労されたことをお聞かせください

当地区は従前から第三学区地域活性化協議会・活性化委員会が組織されており、これまで宮地区全体で取り組む事業を推進してきました。

自治振興会の提案を市から出されたときも様々な意見が出ましたが、活性化協議会を進化させることでまとめ、一昨年から区長様を中心に準備を進めていただきました。

昨年12月13日に活性化協議会・活性化委員会から数名加わり設立準備委員会が立ち上がりました。10回の準備委員会を経て4月30日に「宮地区自治振興会」がスタートしました。

既に事業も実施されているということですが

これまで宮地区で取り組んできた事業に「子ども会の研修旅行」「秋季大運動会」「わくわく産業フェア」「忍

地域コミュニティ推進室
☎65-0687 ☎63-4554

市民協働事業 提案制度説明会

市では、地域の課題を市民の視点や発想から解決し、市民活動の向上につなげていくことをめざす、新たなまちづくりの施策として協働事業提案制度を創設しました。「行政と協働して事業を始めたい」「あるいは「既に行われている行政の事業をよりよいものにしたいたい」そんな想いのある市民活動団体の皆様に対して説明会を開催します。

- 日時/9月2日(金) 19時~20時30分
9月3日(土) 10時~11時30分
- 会場/甲賀市役所水口庁舎3階 会議室
- 内容/市民協働事業提案制度の概要説明
- 対象/活動拠点が市内にあり、構成する会員が5人以上で運営に関する会則等があり、適正な会計処理が行われていること。
- その他/直接会場へお越しください。(事前申込不要) 2日とも同じ内容です。

◎提案制度の募集期間は

9月1日(木)~9月30日(金)
(土・日・祝日は除く)

※行政への一方的な要望や提案団体への支援といったものはこの制度にはなじみません。

問い合わせ・申し込み

地域コミュニティ推進室
☎65-0687 ☎63-4554

夏の風景

「かんぴょう干し」

綾野地域市民センター



綾野地域では、東海道五十三次の錦絵に描かれた初夏の風物詩「干瓢干し」の風景に出会うことができます。かんぴょうは夕顔の実を薄く削り干したもので、日の光をいっぱいにあびます。一方、夕顔には夕顔の真っ白い花が咲き、私たちが癒してくれくれます。環境こだわり農産物でもある水口かんぴょうは繊維質やカルシウムが豊富で、「かんぴょう巻き」で食された方もいらっしゃるでしょう。当センターには、かんぴょう料理の健康レシピや、夕顔の実をくり抜いて絵を描いたものが置かれています。

多羅尾祇園祭

多羅尾地域市民センター



7月17日照りつけるような日差しの中、滋賀県選択無形民俗文化財である甲賀祇園花行事が里宮神社境内で行われました。1か月前から各組で奉納する花を毎晩のように集会所に集まり、各組ならではの花を作られました。皆さんが丹精込め今年の豊作祈願と区民の幸せを願い作り上げられた色とりどりの花が境内にみごとに立ち並びました。

当日は、花を持ち帰ろうと目を輝かせる区民の方々やお里帰りをしてご利益をいただこうと大勢の方で賑わい、太鼓の合図であっという間に花は奪いとられました。1か月間各組で取り組まれた作業のなかには、多羅尾文化の伝承が若い人たちにしっかりと引き継がれていることが地域づくりの力となることを感じました。

東海道士山宿の新名所 「扇屋伝承文化館」

土山地域市民センター



かつて多くの旅人達で賑わった旧東海道を「道の駅あいの土山」から西へ向かって歩いて行くと、まもなく赤いのれんが目に見え、いよいよ目的地の町におこしと

て北東区自治会が無人になった商家を購入、区民有志で扇屋社を作りボランティアで運営しています。まもなく1年と5か月を迎え、オープン以来多くの方が訪れています。商家を改装した館内には、扇屋をはじめ、田村神社など地域に残された逸品が目を惹かせてくれます。また、地元で採れた野菜や土山宿の特産品の販売、そば粉十割の手打ち「いく野そば」や「コーヒー・ジュース」等も提供されています。一度おでかけください。

・開館/土・日・祝祭日 10時~16時
※手打ちそば日曜日のみ

世界平和願い千羽鶴を寄贈 すこやか荘利用者

甲賀大原地域市民センター



甲賀町の「デイサービスセンターすこやか荘」の利用者の皆さんが7月27日、甲賀大原地域市民センターを訪れ、折鶴7千8百羽を寄贈されました。

すこやか荘利用者のみなさんは、毎年この時期に折鶴を寄贈されており、今年で10年目となります。施設利用者15名ほどで、色紙や千代紙を使い1年がかりで作成されました。

寄贈には、すこやか荘の職員と4名の利用者が訪問され、「今年も世界平和を願い、鶴を折りました」と言葉を添え市民センター職員に手渡されました。

寄贈された折鶴は、8月6日に広島市で行われた広島平和祈念式典に参加する市内の小学生たちによって、会場の広島平和公園へ届けられました。